

予算審査特別委員会のようす

3/12

民生文教常任委員会より



議員からの質問

Q

A

町からの回答

療養費保険給付費が昨年度より643万円減となっている。コロナ感染症予防対策によるインフルエンザ感染者の減少などがあったと考えられるが、減額の根拠は。



令和2年度の診療の実績をもとに算出するが、コロナによる自粛や加入者の減少があったため給付費が少なくなった。コロナ感染者対策については、様々な機関を通じて引き続き周知していく。

生きがいサロンが減ってきているようだが、何件を補助する見込みか伺う。



継続の4ヶ所のサロンと2件の新規を見込んでおり、そのうちの1ヶ所からすでに希望が出ている。

何人の手話奉仕員を養成するのか伺う。



令和2年度では9名が講習に参加した。4月広報で講習参加者を募集する。

ごみ収集運搬業務、分別業務など収集運搬について様々な委託を行っているが、一括して指定管理者を置き、費用の総額を削減する考えは。

収集運搬については、指定管理制度が使えないと認識している。いずれにしても高額な予算計上なので、更なる経費節減のための研究をしていく。

いじめ問題対策連絡協議会委員の人数と会議の開催回数は。



委員は10名で、会議は常に開催しているわけではなく対応が必要な時に開催。

教育相談室に通っている生徒の学力フォローアップ計画は。



相談室に通室している生徒の学力向上のため、教師に来ていただき授業を行う。週に2回、1回3時間を見込んでいる。

国体競技別リハーサル大会運営費補助金などが、歳入計上されているが、町負担の持ち出し額は。

約4千万円の持ち出しと考える。